



特集 1

い 地域で活かす！スキルと経験 ～自分らしく働くことが、 生きがいと楽しみに～



レポーター
山口 世莉華さん（左）
馬場 美奈さん

● 問合せ 長寿社会課高齢福祉・介護認定係（☎23162）

わが国の65歳以上の高齢者数は、前年より22万人増えて3640万人で、総人口に占める割合は0.3ポイント伸び29.1割となり、いずれも過去最高を更新しています（総務省統計局9月19日発表、15日時点）。

労働力調査では、高齢者の就業者数は平成16年以降、17年連続で増加していて、令和2年は、906万人と過去最多になっています。就業率も25.1割で、高齢者の4人に1人が就労しています。

雇用形態はさまざまですが、近年は非正規による形態が増加傾向にあります。その理由は「自分の都合のよい時間に、働きたいから」、「専門的な技能などを活かせるから」などとなっています。

人生100年時代の到来とともに、生き方や働き方が多様化し、「自分らしさ」が『生きがい』や『やりがい』につながっています。

今回の特集では、西九州大学看護学部の山口世莉華さん（東山代町）と馬場美奈さん（山代町）が、市内で元気に働く高齢者のやりがいや意義取材し、これまでに培ったスキルと経験を活かしながら、活躍される様子を紹介します。

技をつなぐ

～次世代のために、新しい農業に挑戦～



西山 哲^{さとし}さん (右)
西山 和枝^{わえだ}さん
(山代町久原1区)

レポーターのコメント

「農業は地域貢献」という言葉が、心に残りました。いくつになっても新しい農業技術の習得や農業体験、食育などの活動をされていることは、農業発展への強い思いがあるからだと感じました。若い人たちが、もつと農業に関心を持ち、農業の大切さとやりがいを知ってほしいです。

西山哲さん、和枝さんは、干拓地や棚田の水田10畝で米を作っています。保育園児に田植えや稲刈りを体験させる食育に力を入れ、地域の農家と協力して農産物直売所の運営も行っています。

米作りで一番手間がかかる育苗の省力化を模索し、5年前から、『直まき方式』での栽培に取り組み、改良を重ねています。

子どもたちにも、食の大切さを伝えたいので、農業体験や食育活動をとっても大切にしています。

自分たちが苦勞したことは、次の世代にはさせたくないの
で、若い人たちに、私の技を
残したいと思っています。

そのため、先人の知恵と新しい技術を融合し、未来を見据えた農業に取り組み、毎日汗を流しています。今年、金婚式を迎えましたが、あと何年、二人でこの田んぼで働けるかなと思っています。

◆働くとは・・・

地域に食べる人がいるなら、作る人も必要。農業は、地域貢献の一つだと思っています。

～チャレンジとスマイルがモットー～



セブン-イレブン伊万里東山代店 (東山代町長浜)
福塚 哲^{てつ}さん (右)
マネージャー 真島 水月^{みづき}さん

レポーターのコメント

仲間とつながる

福塚哲さんは大阪出身で、名古屋が本社の企業に33年勤務し、10年前に妻の故郷である伊万里市に移住しました。

伊万里市シルバー人材センターの会員として6年間働き、令和元年、75歳でセブン-イレブン伊万里東山代店に入社しました。入社当初は、何もかもが初体験で覚えることがたくさんありましたが、ゼロからのスタートなので一歩ずつ進もうと努力しました。

この仕事を通して多世代の人たちと知り合いになり、情報交流もできています。いくつになっても、新しいことに挑戦し続けたいです。

◆働くとは・・・
働くことは『新発見との出会い』です。新しい仕事は覚えることが多く戸惑うこともありませんが、知らないことを知ること、新しい発見があり、できることが増えていくことは、とても楽しいです。

◆マネージャー真島さんから一言
セブン-イレブンには、定年がありません。常に進化しているコンビニエンスストアなので、それに従業員がついていくことが大変です。75歳の人を指導することは、初めてだったので不安がありました。が、根気強くサポートし、福塚さんも失敗を糧に努力されました。今では、当店のムードメーカーで、お客様と自然に会話をするコミュニケーション力は定評があります。

新しい仕事をするときは、不安や苦勞がありますが、『新発見』と前向きに捉え、覚えることを楽しめたいなと思います。また、一緒に働く上司や同僚のサポートも重要で、一人では頑張れなくても仲間がいることが励みになると感じました。

人と人をつなぐ

原田 一郎さん、佳美さんは、令和元年8月に神奈川県川崎市から、二人の出身地である伊万里市にUターン。令和2年4月に、妻の祖父母が営んでいた築80年以上の元商店を改修し、カフェをオープンしました。昔はたばこや塩、日用雑貨などを販売していて、通りは人の行き来が多く、賑わっていました。昔のように、「人が集まる、活気あふれる場所にしたい」という思いで、開店を決意。家族や友人、地域の人たちにも手伝ってもらい、たくさんの人たちの思いが込められた店が完成しました。

～ふるさとの賑わいをサポート～



カフェ伊万里川友商店（山代町楠久）
原田 一郎さん（左）
原田 佳美さん

レポーターのコメント

◆働くとは・・・
定年退職しても、ずっと働き続けたいと思っていました。働くことは『自分の居場所づくり』です。
カフェを通して、若い人たちとの交流ができ、このカフェは、私たちにあって仕事場ではなく、人と人がつながる『交流の場』です。
自分の居場所づくりややりがいのために働くことも、楽しいことだと感じました。
『働く』ことを今までと違う視点で考えるきっかけになりました。

～できることとできないことを互いに助け合う～

互いを尊重

障害者就労支援センターで働く人をご紹介します。



光武 誠さん

【やりがい】
初めは、不安がありました。今はやりがいがあり、働ける限り、続けたいです。

◆働くとは・・・
体を動かすこと。自分が仕事を楽しんでやっていることは、周りの人たちにも伝わっていると思います。



尾嶋 正弘さん

【やりがい】
仕事の出来上がりが目に見えるので、達成感があります。

◆働くとは・・・
リハビリの一環です。仕事中は真剣に、休憩時間は、仲間と会話を楽しんでいます。



坂本 優美子さん

【やりがい】
ミシンで布地を縫い合わせて、完成した製品を見るときが嬉しい。

◆働くとは・・・
楽しいリハビリです。いくつものパーツを組み合わせて、完成させる工程が、わくわくします。

交通事故や病気の後遺症と向き合いながら、これまでの経験を活かしながら、熱心に仕事に取り組みられています。格好よく感じました。不自由さを乗り越えながら、前向きに働かれている姿に感銘を受けました。

レポーターのコメント



作業の様子

障害者就労支援センターとは、障害がある人の「働きたい」というニーズを実現するための事業所で、一般企業就労を目指す人や軽作業を通じて就労の喜びを求めている人など、ニーズに応じた働き方が選択できます。
現在、40人程度が、それぞれの障害の特性に応じ、パッチワーク商品の製作や洗濯、印刷のほか、企業からの請負作業などに取り組んでいます。

シルバー人材センターで働く

◆シルバー人材センターとは

▽営利団体ではありません。
シルバー人材センターは、公益団体ですので、収益が目的ではありません。

▽社会参加と地域貢献を目的に取り組んでいます。

仕事を通じて、社会参加や生きがい、仲間づくり、健康増進など、高齢者の豊かな生活を実現するとともに、地域社会に貢献することを目的にしています。

▽伊万里市シルバー人材センター

伊万里市シルバー人材セン

ターは、平成元年に設立され、会員は224人です（4月時点）。

◆仕事を頼みたいときは

仕事内容は、会員の豊富な知識や経験、技術を活かし、技能分野やサービス分野など、さまざまな分野があります。

仕事を依頼したい人は、まずは、気軽にシルバー人材センターに、電話で問い合わせてください。

●問合先

公益社団法人伊万里市シルバー人材センター

（☎03471）

高齢者の家事支援



シルバー会員 桑本 ちよみさん (左)
依頼者 永田 一子さん

「人とのつながりを大事にしています」

桑本 ちよみさん
(白 野)

定年退職後に、友人の勧めで入会しました。元気なうちは、人の役に立つ仕事がしたいと思っています。

仕事を通じて依頼者や仕事の仲間と会って話することが、元気の源になっています。また、体を動かすことが、健康につながっています。

元気で長生きが、目標です。

シルバー
会員の声

「会話をすることが楽しみです」

永田 一子さん
(栄 町)

依頼者の声

桑本さんには、自宅の掃除などをお願いしています。訪問されると、掃除だけではなく、会話をすることがいつも楽しみです。

桑本さんとは、「私の100歳の誕生日をこの家で一緒に、お祝いしましょうね」と話しています。

シルバー人材センターは、さまざまな仕事をしています

◆技能分野

ふすま・障子・網戸の張り替え、植木の^{せんてい}剪定

◆サービス分野

高齢者の介助や話し相手、見守りサポート、食事の支度、入院患者の衣服洗濯

◆管理部門

日 直

◆屋内外の一般作業

除草、草刈り、清掃、農作業の補助、不用品処理、引っ越し手伝い、チラシの配布



居室清掃の様子

◆仕事を依頼するには

シルバー人材センターに電話

依頼内容の見積もり

仕事の実施

代金の支払い

「新しい仕事にチャレンジしています」



シルバー
会員の声

松永 満夫さん
(山代町西分)

定年退職後に、新しい仕事にチャレンジしたいと思い、入会しました。

最初は失敗もありました。今は、依頼者から「仕上がりがきれい！」と褒めてもらっています。

休日は、孫と一緒に食事にいくことが楽しみです。

◆得意な仕事

ふすま・障子の張り替え

「体を動かすことが好きです」

シルバー
会員の声



西原 春男さん
(東山代町長浜)

体を動かすことが好きなことと、これまでと違う仕事をやってみたいと思い、入会しました。

高い所での作業は、安全に気を付ければ危険はありません。依頼者の「ありがとう」の言葉が嬉しいです。

◆得意な仕事

庭木の^{せんてい}剪定

これからも、元気に働きたい ~依頼者の喜びがやりに~

シルバー人材センターに入会しませんか



『シルバーの日』キャンペーンとして、マックスバリュ伊万里駅前店（10月14日）とAコープいまり店（18日）で、会員募集を呼びかけました。

一緒に働く仲間を募集しています。

毎月1回、午前9時30分から入会説明会を開催しています。関心がある人は、参加してみませんか。

入会が、仲間づくりや生きがいづくりにつながっています。健康で働く意欲がある人は、ぜひ、ご入会ください。



吉永 康雄
事務局長

「仲間と働くことが楽しいです」



シルバー
会員の声

田崎 富代さん
(上土井町)

働くことが楽しく、元気に働きたいと思い、入会しました。

剪定機器操作の講習を受けて、作業ができるようになりました。仲間とともに働くことが楽しく、依頼者の笑顔を見られることが嬉しいです。

◆得意な仕事

庭木の^{せんてい}剪定、掃除



レポーター
山口 世莉華さん（左）
馬場 美奈さん

◆取材を終えて
今回、市内で働かれている人たちを取材し、皆さんが生き生きと活動されていることに驚きました。
これまでの経験を活かしたり、新しいことにチャレンジしたり、やりがいと生きがいをもって活躍されています。
「自分の居場所があることはありがたい。新しい仕事に挑戦したい」と話されていました。
これから就職する私たちは、大きな期待を持っていますが、不安もあります。皆さんの話を聞いて、元気に働くこと、そしてこれからのたくさんさんの経験ができることに感謝し、何事にも積極的にチャレンジしたいと思いました。また、人と人とのつながりの大切さを再認識したので、同世代だけでなく、さまざまな世代の人たちと積極的に関わり、交流を深め、分かち合いたいと思います。